

2019 年度

多機能ホームまどか

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【事業所自己評価】

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	7人	人	人	17人

前回の改善計画

・本人が慣れていない時期には、朝のミーティングでその日の担当者を決めて、まどかや他の利用者となげの工夫をする。

回の改善計画に対する取組み結果

・1人のスタッフが担当として通しで対応することは難しかった。その日のチーフが他の利用者で紹介して、場に慣れるまではスタッフが間に入って、他の利用者やスタッフ、ボランティアとの関係作りを大切にしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	13	4			17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	7			17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	14	3			17
③	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	14	3			17

できている点

・スタッフが揃って情報共有をする場のミーティングではあるが、全員が出席できないことがない。そのため、ミーティング以外の方法でスタッフ全員が初めて関わる利用者の情報を収集してからケアに入る姿勢でいる。

・開始前の情報が少ししか得られない利用者については、利用開始されてから、会話や観察等で情報を引き出している。

・本人の負担を軽減するため、訪問から開始し利用者との関係作りに努めた。物品の位置等、利用者の自宅環境の情報もスタッフ間で共有した。

・利用開始前に時間を割いて情報の収集、分析をして、まず最も必要な支援から始めることにしている。同時にご本人やご家族からゆっくりと話を聴き関係作りに努めている。

・利用が初めての方、来所し始めの方など、必ずスタッフが付き他の利用者との橋渡しや声掛け等を行っている。

できていない点

・通いサービスで初期(利用者が心地よいと感じる過ごし方を探っている時期)なのだが、問題なく過ごしていると記録による情報量が少ない場合がある。

次回までの具体的な改善計画

・利用開始から1ヶ月程度は情報収集の時期と考え、表情や会話の内容や動きなどを詳しく記録に残す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	10人	人	人	17人

前回の改善計画

- ・「社会資源とは何か」について、全員で学習する機会を設ける。
- ・ケアプランの短期目標を意識したケアを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・それぞれの利用者に必要な社会資源や地域との関わりなどをミーティング等で話され、学習している。
- ・実地指導の時に、居宅介護計画書と小規模多機能型居宅介護計画書を分けるように指導があった。結果短期目標を意識してケアを行うことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	13	4			17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	14	3			17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	10	7			17
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	13	4			17

できている点

- ・本人の「～したい」を基に長期目標・短期目標としたケアプランが作成される。スタッフ全員が目を通すことにより、統一を図ったケアが実施されている。
- ・本人に何がしたいのか聞き、何が出来ているのかその都度考え、本人の意思を大切にしてお対応している。
- ・ミーティングを月2回開催して話し合い、決定事項はスタッフ間できちんと共有される。各利用者の担当スタッフがこまめに利用者本人や家族と話をする機会を持ち、必要な事はすぐに実践できている。

できていない点

- ・現在把握している利用者の気持ちや希望は支援内容に係わる内容が多く、利用者の生活の質に目を向けたものが少ない。

次回までの具体的な改善計画

- ・利用者の気持ちや希望を聞き取り残せるシートを利用者と作成して、本人の希望を把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

3. 日常生活の支援

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	13人	人	人	17人

前回の改善計画	・「こんな人です」シートを作成し、訪問や宿泊を担当していないスタッフにも生活環境や以前の暮らし方を伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティングの中で、数人の「こんな人です」シートの作成をして“その人”の理解を深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	11	6			17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	16	1			17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	12	5			17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	15	2			17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	15	2			17

できている点	・受身の情報だけではなく、自分からも情報を集める努力をしてきた。 ・体調や変化に応じて日々関わり、排泄等の支援をしている。 ・本人の体調や状況に合わせて時間をずらしての入浴や食事の形状や内容を変更している。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	・利用者の生活環境を含めた理解はシートを作成して行なっているのだが、全員分の作成ができなかった。
---------	--------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	・引き続き利用者一人ひとりの「こんな人です」シートを作成し、訪問や夜勤をしていないスタッフにも生活環境や以前の暮らし方を伝える。
---------------	------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	5人	人	17人

前回の改善計画

- ・利用者ごとの担当民生委員を把握し、必要な連携を取る体制を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・連絡体制が必要な利用者の担当民生委員は把握して連携したが、その他の方の担当民生委員は調べる機会が無かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	12	5			17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	14	3			17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	7	10			17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	8	9			17

できている点

- ・利用者がこれまで培ってきた生活・人間関係をできる限り少しでも壊さないように意識し、近所の方にも挨拶や世間話をしてつながりを持つ努力をした。
- ・本人と家族から聞き取りをして生活スタイルや地域との関係などを把握している。独居で身内の方と関係が少ない場合、利用開始以前の情報が少なく苦慮することが多いが、自宅に伺った時に少しでも多くの情報を把握する努力をしている。
- ・ボランティアの方がまどかに来てくださる。認知症カフェ等に参加することで地域の方と関わる事が出来ている。

できていない点

- ・地域での暮らしの支援方法についての選択肢を増やすことができなかった。

次回までの具体的な改善計画

- ・緊急連絡表に、必要の有る無しに関わらず“民生委員”の欄を設け担当者を知っておく。
- ・曜日に関わらずに散歩などの外出で地域と関わる機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	14人	3人	人	人	17人

前回の改善計画	・引き続き、多様なニーズに応えられる社会資源の情報を探す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・常に意識して情報を収集していた。本人にあった配食サービスや訪問診療等に繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	14	3			17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	16	1			17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	17				17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	15	2			17

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の近所の方に、ゴミ出しや散歩の協力を得ている。(4人) ・配食サービスから本人不在の連絡を受けた時には、臨時で訪問し安否確認をした。 ・体調不良時は通いサービスを中止して訪問に切りかえる、本人の必要に応じて臨時で宿泊など行った。 ・月1、2回のミーティングや朝の打ち合わせなどで本人の変化は伝えられている。共有することの大切さをスタッフが理解している。またその時々で必要な支援ができる小規模多機能型居宅介護の特長も活かし実施している。 ・利用者をよく観察することにより、ちょっとした変化にすぐ気付ける。また、電話やメールなども活用して利用者や家族が気軽に相談できる環境を作り、関係を築く努力をしている。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	認知症により1人でいることができない利用者には常にスタッフが対応していた。それを見て「スタッフを独占している」と他の利用者からあがった不満の声に十分な対応ができなかった。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	・それぞれの利用者に丁寧に話を聴く時間を持ち、気持ちよく過ごせるように努める。
---------------	-----------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

6. 連携・協働

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	16人	1人	人	人	17人

前回の改善計画	・地域活動やイベントには全員が参加することはできないが、何人かが代表で参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域活動やイベントに全スタッフの参加は難しいので、少なくとも1人は参加できるよう協力、調整した。参加を重ねることで、地域の方たちに顔や事業所を覚えてもらえた。参加内容はミーティングで報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	14	3			17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	17				17
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	17				17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	17				17

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・がん疾患を持つ利用者の体調管理や排泄時の急な血圧低下などで医療機関や訪問看護と連携することが多かった。 ・金銭的虐待を疑われるケースの会議には、ケアマネだけではなく介護担当スタッフもできるだけ参加して家族の孤立の防止と日々の見守りを行った。 ・町内会の夏祭りや定期総会には「地域担当」スタッフが参加した。担当スタッフが参加できない時にはその日出勤したスタッフが市民清掃や防災訓練に参加した。報告はミーティングでこまめに行っている。 ・ボランティアは月に35~40名が係わってくれた。掲示板の画鋏が「落ちていた」と何度も届けてくれた小学生もいた。 ・福祉大学の実習生や小規模多機能居宅介護の柔軟な対応を知りたいと看護小規模多機能型居宅介護などからの見学者を受け入れていた。聴覚障害をもつ実習生を受け入れた時は、地域の要約筆記のボランティアグループと連携した。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	・ミーティングで地域活動や関係機関との連携内容を報告しているが担当者任せになっているくらいあり。
---------	--------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	・地域活動やイベントには全員が参加することはできないが、引き続き担当職員が参加し、その内容をミーティングで報告する。また、日曜日にミーティングを開催して、より多くのスタッフに地域活動や他機関との連携を知ってもらう。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

7. 運営

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	13人	4人	人	人	17人

前回の改善計画	・まどかの職員である事自身が“運営”に関わっている、という意識を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティング等の会議で、利用者・家族・他事業所・地域の方等との関わりについて話し合われている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	9	8			17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	14	3			17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	16	1			17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	17				17

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・ボランティアなど、日々意見を聴く体制(家族の会・運営推進会議・他)が出来ている。 ・利用者・家族からの苦情は振り返りやミーティング等で話し合い、対応を考えることができている。 ・今年は法人全体で防災に力を入れ、臨時的福祉避難所としての役割を担う土台作りをしている。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	・さまざまな議題がミーティングで話し合われ決定するが、17:30以降の開催は子育て中の職員の参加が難しいため欠席せざるを得ない。
---------	------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	・ミーティングを月に1回は日曜日の日中に行ない、参加しやすくする。
---------------	-----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00～11:45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	9人	人	人	17人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の目標に従って、必要な研修を行う。 ・ミニ研修を積極的に開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の目標を昨年設定し確認した。今年もその評価と次年度の新たな目標を設定した。 ・ミーティングを利用してのミニ研修では東日本大震災を体験した職員の災害体験を聴き、災害・防災について考えた。また感染症対策を学んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	9			17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	14	3			17
③	地域連絡会に参加していますか	16	1			17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	15	2			17

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は研修の声掛けに力を入れた。それにより参加率が上がった。 ・職場内外の研修に必要と思われるものには参加できている。研修の情報が周知されており参加のための勤務調整も配慮され出席しやすい。 ・他事業所との連絡は密に行えている。 ・リスクマネジメントでは事故の再発防止のため、利用者との関わり方や対応の仕方を学び転倒防止に努めている。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのスキルアップや学習意欲にバラつきがみられる。
---------	--------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを活用し、継続してミニ研修を行ない学ぶ機会をもつ。また、研修や勉強会の声かけをする。
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2019年10月20日(10:00~11:45)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中本 原口 堀川 近藤 小室 滝本 畑中
山口 田島 和知 遠野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	16人	人	人	17人

前回の改善計画	・成年後見人制度の学習会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・学習会は開けなかったが、実際に成年後見人がついている利用者についてミーティングなどで報告があり理解する機会となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	17				17
②	虐待は行われていない	17				17
③	プライバシーが守られている	13	4			17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	15	2			17
⑤	適正な個人情報の管理ができている	15	2			17

できている点	・身体拘束などの虐待、プライバシーの保護については十分に配慮し、1名が「虐待と身体拘束及び不適切なケアをなくすには」の研修に参加した。その研修を基にミーティング時にミニ勉強会を開催した。 ・ケアを受け入れない利用者に対して無理やりケアを行うのではなく対策を考え、嫌な思いをさせないようにしている。 ・会話もスタッフ全員が気をつけて利用者を傷つけない、プライバシーを守るように受け答えするよう心掛けている。 ・成年後見人制度は利用者に応じて活用している。後見人との連絡も取れている。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	・成年後見人制度の学習会が未開催。
---------	-------------------

次回までの具体的な改善計画	・成年後見人制度を含めた権利擁護等を学ぶ時間をもつ。
---------------	----------------------------